

## 「巡回アカデミー」（熊本県研修） の実施について

市町村アカデミーでは、様々な事情によって千葉の本学での研修受講が困難な地域の要請等により、当該地域に赴き、高度で専門的なカリキュラムを短期研修として提供する「巡回アカデミー」を平成27年度より年度内に2回実施し、令和6年度については、応募多数につき3回の実施となっております。



熊本県市町村自治会館別館外観

令和6年度は、第1回目を8月に兵庫県神戸市で開催し、第2回目は10月29日（火）から31日（木）までの3日間の日程で、熊本市東区健軍にある熊本県市町村自治会館別館において、熊本県市町村職員研修協議会との共催で、「行政のデジタル化の推進～所管課の業務改革（DX）～」の研修を行いました。

29日（火）は開講式の後、総務省自治行政局行政経営支援室長の君塚明宏氏から「デジタル社会の実現に係る国の動向」と題して、ご講義をいただきました。研修生からは、「国の取り組みや目指す方向性を聞くことができてよかった」、「職場内のDX化に大変参考になった」などの感想が寄せられました。



研修受付

次に、「自治体デジタル化の必要性～ChatGPTなどの生成系AIとどう向き合うか～」と題して、東北大学大学院情報科学研究科准教授の河村和徳氏から、生成系AIの活かし方や、自治体におけるデジタル化の必要性についてご講義をいただきました。研修生からは、「デジタル化を考えたり進めたりしていく上での意識や考え方など大切な部分を学べた」などの感想が寄せられました。



講義の様子

1日目の最後には、「データ活用と情報セキュリティ」と題して、合同会社KUコンサルティング代表社員の高橋邦夫氏から、自治体におけるオープンデータの活用の重要性や、情報セキュリティの意義、個人情報の保護とリスク対応についてご講義をいただきました。研修生からは、「セ



研修会場

キュリティポリシーについて全庁的な理解を促すことが必要と感じた」などの感想が寄せられました。

30日（水）は、株式会社サン・プランニング・システムズの鈴木裕氏から「BPMN研修・業務改善ワークショップ」として、ご講義及び演習指導をいただきました。研修生が実際に自らの業務についてBPMN業務フローを作成する実習をとおして、「すべての業務において見える化することで問題点や改善点が明白となり、現状で優先的に改善すべきものを洗い出し改革していくべきかどうかの考え方がわかった」などの感想が寄せられました。



実習の様子

31日（木）は、前日に引き続き「BPMN研修・業務改善ワークショップ」として、グループワークを中心にご指導いただきました。研修生からは、「班ごとに分けてのワークショップではとても楽しく学ぶことができ、受講生の皆さんも非常に意識が高く多くの刺激を受けることができた」などの感想が寄せられました。

次に、事例紹介として、埼玉県吉川市総務部庶務課情報管理担当主査の伊藤裕亮氏から「デジタル化と住民サービス向上の取り組み」についてご講義をいただきました。研修生からは、「実際にシステムを導入されている自治体の話を聞くことができ大変勉強になった」などの感想が寄せられました。

引き続き、「課題演習（討議・発表・講評）」と題して、研修生が準備した政策分野の現状や指標を基に、今回のBPMN業務フローを使用しながら班ごとに政策評価を考え、討議・発表を行い、鈴木裕氏よりご講評をいただきました。研修生からは、「他の班の発表を聞くことで自身が思い浮かばなかった問題点等を把握することができた」、「他の班の業務フローも可視化されていることでとてもわかりやすかった」などの感想が寄せられました。

令和6年度は、残すところ令和7年1月に、第3回目を岐阜県岐阜市にて開催する予定となっております。